

2 琵琶湖流域下水道事業の業務状況

(1) 事業の概要

各市町から流入する汚水を処理すること等により、琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質を保全し、県民の快適な住環境等を実現することを目的として、次の4つの処理区において琵琶湖流域下水道事業を実施しています。

令和元年度からは、地方公営企業法の一部を適用し、公営企業として実施しています。

処 理 区	浄化センター	供用開始	処理区域の存する市町
湖南中部処理区	湖南中部浄化センター 水処理能力（日最大） 294,500 m ³ /日	昭和57年 4月	大津市、近江八幡市、草津市、守山市、 栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、東 近江市、日野町、竜王町
湖西処理区	湖西浄化センター 水処理能力（日最大） 52,500 m ³ /日	昭和59年 11月	大津市
東北部処理区	東北部浄化センター 水処理能力（日最大） 120,750 m ³ /日	平成3年 4月	彦根市、長浜市、東近江市、米原市、 愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
高島処理区	高島浄化センター 水処理能力（日最大） 16,400 m ³ /日	平成9年 4月	高島市

※水処理能力（日最大）は令和4年4月1日現在

○事業の実施状況

令和3年度下半期の処理水量（流入水量）は74,740千m³で、前年度同期に比べ1,881千m³、2.5%の減少となりました。

なお、令和3年度の各処理区の処理水量（流入水量）は、次のとおりです。

（単位：千m³）

	湖南中部処理区	湖西処理区	東北部処理区	高島処理区	合計
上半期分	53,620	8,598	18,942	2,627	83,787
下半期分	46,611	7,075	18,543	2,511	74,740
合計	100,231	15,673	37,485	5,138	158,527

○建設事業の状況

令和3年度下半期は、浄化センターにおける水処理施設の設備改築更新工事および耐震補強工事、流域幹線管渠工事等を上半期に引き続き実施しました。

(2) 経理の状況

○予算の補正の状況

令和4年2月定例会議において、維持管理負担金の増加等により事業収益を163,475千円、減価償却費の増加等により事業費用を13,542千円それぞれ増額補正しました。また、企業債の減少等により資本的収入を845,573千円、工事費の減少等により資本的支出を1,116,570千円それぞれ減額補正しました。

○令和3年度予算の執行状況

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの予算の執行状況は、次のとおりです。

●収益的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
琵琶湖流域下水道事業収益	20,696,300	—	163,928	20,860,228	20,901,606	100.2
営業収益	8,714,514	—	93,127	8,807,641	8,854,192	100.5
営業外収益	11,981,786	—	70,348	12,052,134	12,046,961	100.0
特別利益	—	—	453	453	453	100.0
琵琶湖流域下水道事業費用	20,657,800	—	16,139	20,673,939	20,359,528	98.5
営業費用	19,876,621	—	54,707	19,931,328	19,695,669	98.8
営業外費用	781,179	—	△ 41,165	740,014	661,264	89.4
特別損失	—	—	2,597	2,597	2,595	99.9

●資本的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
資本的収入	10,773,500	2,587,489	△ 845,573	12,515,416	7,981,624	63.8
企業債	3,058,100	685,900	△ 322,700	3,421,300	2,257,100	66.0
出資金	781,296	—	95,835	877,131	877,131	100.0
補助金	5,084,918	1,901,589	△ 447,258	6,539,249	3,169,843	48.5
負担金	1,849,186	—	△ 171,450	1,677,736	1,677,550	100.0
資本的支出	14,287,700	4,245,603	△ 1,101,400	17,431,903	11,249,580	64.5
建設改良費	9,149,860	4,245,603	△ 899,865	12,495,598	6,313,283	50.5
企業債償還金	3,935,163	—	—	3,935,163	3,935,157	100.0
返還金	1,202,677	—	△ 201,535	1,001,142	1,001,140	100.0

(注) 1 補正予算額は、令和3年9月定例会議および令和4年2月定例会議における補正予算額の合計額です。

2 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

○企業債の状況

令和4年3月31日現在の企業債の現在高は、46,497,466千円です。

○決算の状況

①損益収支

事業収益は20,096,121千円、事業費用は19,674,830千円となりました。この結果、純利益は421,291千円となりました。

●比較損益計算書

(単位 千円)

科 目	令和3年度(A)	令和2年度(B)	比 較 増 減	
			(A)－(B)	(A)/(B) %
琵琶湖流域下水道事業収益	20,096,121	20,746,469	△ 650,348	96.9
営 業 収 益	8,056,852	8,022,708	34,144	100.4
営 業 外 収 益	12,038,817	12,720,795	△ 681,978	94.6
特 別 利 益	452	2,966	△ 2,514	15.2
琵琶湖流域下水道事業費用	19,674,830	20,209,354	△ 534,524	97.4
営 業 費 用	19,019,602	19,507,005	△ 487,403	97.5
営 業 外 費 用	652,633	701,805	△ 49,172	93.0
特 別 損 失	2,595	544	2,051	477.0
当 年 度 純 利 益	421,291	537,115	△ 115,824	78.4

②財務状況

令和3年度末の総資産は 273,869,613 千円、負債は 253,501,446 千円となり、資本は 20,368,167 千円となりました。

●比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	令和3年度	令和2年度	比較増減	科 目	令和3年度	令和2年度	比較増減
固定資産	265,359,367	272,007,718	△6,648,351	固定負債	43,811,218	45,183,793	△1,372,575
流動資産	8,510,246	9,470,783	△ 960,537	流動負債	8,535,449	10,746,782	△2,211,333
				繰延収益	201,154,779	206,462,560	△5,307,781
				負債合計	253,501,446	262,393,135	△8,891,689
				資本金	2,799,543	1,922,412	877,131
				剰余金	17,568,624	17,162,954	405,670
				資本合計	20,368,167	19,085,366	1,282,801
合 計	273,869,613	281,478,501	△7,608,888	合 計	273,869,613	281,478,501	△7,608,888

(3) 令和4年度の事業および予算の概要

琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質を保全し、県民の快適な住環境等を実現するため、本年度は4処理区あわせて159,110千㎡の汚水を処理する予定としています。

また、管渠の整備工事や、各浄化センター等における設備の改築更新工事、耐震補強工事等を行うこととしています。

○令和4年度当初予算の概要

●収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額
琵琶湖流域下水道事業収益		20,759,900
	営業収益	8,884,921
	営業外収益	11,841,779
	特別利益	33,200
琵琶湖流域下水道事業費用		20,685,400
	営業費用	19,939,667
	営業外費用	715,333
	特別損失	30,400

●資本的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額
資本的収入		9,636,400
	企業債	2,702,700
	出資金	842,288
	補助金	4,363,856
	負担金	1,716,956
	固定資産売却代金	10,600
資本的支出		11,889,900
	建設改良費	8,148,682
	企業債償還金	3,731,418
	返還金	9,800

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填します。